

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

1 若者に魅力的なしごとづくり

資料3

●具体的な施策(1)「革新」を生み出す新たな起業・創業、新事業創出支援の展開

1 「神戸スタートアップオフィス」の本格展開
【28年度の取組み実績】 ITを活用したイノベティブなビジネス創出を目指すスタートアップを支援する「神戸スタートアップオフィス」を設置。同オフィスを拠点に、約3か月間の短期起業家育成プログラムを展開。ビジネスプランコンテスト「Kobe Global Startups Gateway」で選ばれたチームを対象にメンタリング、活動資金の提供、デモデイの開催を行った。 ※第1期（平成28年2月～4月、デモデイ5月）採択5チーム ※第2期（平成28年7月中旬～10月中旬、デモデイ11月）採択7チーム ※第3期（平成29年1月～3月、デモデイ4月）採択5チーム
2 起業に向けた「短期重点支援プログラム」の実施
【28年度の取組み実績】 上記「神戸スタートアップオフィス」の本格展開に記載。（一体的に実施）
3 シリコンバレーへの派遣交流プログラムの実施
【28年度の取組み実績】 神戸での起業を志す学生や起業家候補をシリコンバレーに派遣する交流プログラムを実施し、若者の起業家マインドを醸成した。 平成29年2月5日（日曜）～2月10日（金曜）にプログラムを実施。応募者36名、参加20名（大学院生5人、大学生14人、高校生1人。起業プランを持っているかが条件）。
4 世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体神戸への誘致及び連携
【28年度の取組み実績】 シリコンバレーを拠点とするトップレベルのシード投資ファンドである「500 Startups」と提携し、平成28年8月1日から9月9日まで神戸情報大学院大学を会場にアクセラレーションプログラムを実施。日本国内だけでなくアジアからの参加を含む全21組の受け入れを実施。
5 起業家交流プログラムの実施
【28年度の取組み実績】 平成27年度にて終了。
6 新事業創発プログラムの実施
【28年度の取組み実績】 「ライフステージに合わせた「新たな働き方」～女性の働き方をかなえる～」をテーマに、神戸創生会議を3回開催した。若手経営者・学識経験者等の参加者が、分野を超えた自由な発想で、事業アイデアの創出に取り組んだ。
7 知的財産の活用・産業化
【28年度の取組み実績】 県内唯一の技術移転機関である(公財)新産業創造研究機構の協力を得て、大企業等の特許や大学等の研究成果を活用し、市内中小企業の新製品・新技術の開発を推進した。
8 スタートアップ支援への「ふるさと納税」の活用
【28年度の取組み実績】 スタートアップオフィス事業におけるデモデイを補完するものとして、寄付型クラウドファンディングサイト「Japan Giving」で資金調達を行い、集まったふるさと納税を活用して、スタートアップの活動資金として提供。これに関して、Facebookのターゲット広告を活用し、神戸ゆかりの人物に対しピンポイントで広報を行った。
9 人材交流型新事業創造プラットフォームの創設
【28年度の取組み実績】 ・企業、社員、社内ベンチャー、大学、学生、起業家、金融機関等が交流・融合する会員制スペースを運営した（平成28年7月神戸起業操練所オープン）。 ・新事業創出やチームでの起業のため、支援プログラムから成長資金への橋渡しまで総合的な支援を提供し、13件の新事業・新規企業を創出した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」検証シート

【KPI 28年度実績】

- ・短期重点支援プログラムに対する投資家からの資金投入件数4件、資金投入額1億3,000万円
- ・世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体による投資件数 9件
- ・新事業創発プログラムによる事業創出件数 1件
- ・(公財)新産業創造研究機構による知財活用支援による製品化・事業化件数 6件
- ・スタートアップのための成長資金調達額 779,564円

●具体的な施策(2)成長産業の企業誘致等の促進

1 神戸医療産業都市の推進

【28年度の取組み実績】

- ・国家戦略特区プロジェクトとして、iPS細胞を用いた網膜再生医療等の研究から実用化までを行う神戸アイセンターを整備に着手。
- ・さらなる創業関連企業を誘致しオープンイノベーションを推進するため、「神戸医療イノベーションセンター」を整備。
- ・スーパーコンピュータを使った創薬(インシリコ創薬)のためのアプリケーションを開発。
- ・他人のiPS細胞を使った網膜細胞の移植に関する臨床研究を進め、日本で1例目となる移植手術を神戸市立医療センター中央市民病院で実施(平成29年3月)。
- ・平成29年3月末時点で、医療産業都市への進出企業数は336社、雇用者数は約9,200人となった。

2 雇用の場を生み出す企業誘致の推進

【28年度の取組み実績】

神戸エンタープライズプロモーションビューローとして、国内外への情報収集・発信を強化し、産業分野に応じた誘致インセンティブを活用して成長分野等の企業誘致を推進した。(200haの産業用地売却を達成した。)また、創業・医療機器・再生医療・ヘルスケア関連企業の誘致を積極的に進めた結果、医療関連進出企業・団体数は336社に達した。さらに、医療を中心とした産学官の連携を進めるとともに、企業間の交流会を通じてビジネス支援を行い、ポートアイランドへの進出企業の定着と成長の促進を行った。

3 みちのネットワークづくり

【28年度の取組み実績】

①広域幹線道路ネットワークの強化

大阪湾岸道路西仲部(六甲アイランド北～駒栄)が、平成28年4月に国土交通省の直轄道路事業として事業化された(国の取り組み実績 六甲アイランド:ボーリング調査、測量)。その後、阪神高速の有料道路事業の導入による合併施工方式となり(平成29年3月)、早期整備に向けて大きく前進した。また、高速道路を賢く使う取り組みとして、阪神高速の料金改定が実現した(平成29年6月3日 新料金導入)ほか、平成29年3月23日には国道175号平野拡幅が完成した。

②主要幹線道路ネットワークの構築

神戸三田線(大池)の延長約220mと神戸三田線(有馬口)の延長約500mが完成し、神戸三田線(日下部)の事業認可を取得した。その他、小東山6丁目交差点改良工事が平成29年5月末に完成し、皆森交差点など、市内の主要な渋滞箇所についてハード・ソフト施策等の渋滞対策の検討を進めた。

4 阪神港国際コンテナ戦略港湾のさらなる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大

【28年度の取組み実績】

・「集貨」については、国の集貨支援制度を活用し、瀬戸内・九州方面からの集貨を進めるとともに、国や阪神国際港湾株式会社と一体となって、国内外の荷主企業・船会社をターゲットとしたポートセールスを実施した結果、取扱貨物個数は3年連続増加し、内航フィーダーネットワークは取り組み開始前の週68便(平成26年4月時点)から週99便(平成29年2月時点)に増加した。

・「創貨」については、新たなコンテナ貨物の需要創出のため、国の創貨支援制度を活用し、ポートアイランドにおいて新たな流通加工センターの建設を進めた(平成28年4月竣工)。また、六甲アイランドでも新たな流通加工倉庫の建設が進んだ(平成29年1月竣工)。

・「競争力強化」については、港湾物流の基盤整備として、埠頭用地の耐震化や航路・泊地の浚渫などを国直轄事業として進めた(平成28年4月よりRC-6、7に係る六甲東水路を水深16mで暫定供用を開始)。このほか、高規格ガントリークレーンの整備などの事業を実施した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

5 神戸空港の機能充実 【28年度の取組み実績】 ①関西3空港一体運営に向けた取組み 神戸空港コンセッションの準備作業を進めた。 ②神戸空港の機能充実 ・運用時間の延長、発着枠の拡大、国際チャーター便の制限の緩和、国際便の利用促進のためのCIQ体制充実など、国への要望等を行った。 ・兵庫県や商工会議所、航空各社、旅行会社とともに、利用促進に取り組んだ。
6 神戸空港島の戦略産業企業の集積・にぎわいの創出 【28年度の取組み実績】 ・進出企業への敷地拡張の働きかけや、航空機関連企業への誘致活動を行った。 ・環境負荷の少ない水素エネルギーの利活用を推進するため、「水素サプライチェーン構築実証事業」の施設整備に着手した。 ・神戸空港島のにぎわいを創出するため、空の日等の空港イベントや、民間によるモトクロス大会等を開催した。
7 兵庫県と連携した政府関係機関の移転誘致 【28年度の取組み実績】 兵庫県と連携して移転要望を行った結果、理化学研究所の「科学技術ハブ推進本部関西拠点」の設置が決定した。

【KPI 28年度実績】 ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 77社 ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 2,820人 ・阪神港の国際基幹航路等の便数(北米・欧州など) ①欧州基幹航路 週1便 ②北米基幹航路 6曜日寄航 ③南米等航路 新規航路開設(アフリカ航路、インド航路) ・3空港一体運営による利便性向上・ネットワークの充実(就航都市数) 6都市 ・航空・宇宙関連企業及び集客・にぎわい施設の誘致件数 1件

●具体的な施策(3)次代の基幹産業の育成・振興 ①

1 航空・宇宙産業の育成 【28年度の取組み実績】 航空・宇宙分野を含む戦略産業分野について、中小製造業投資促進等助成制度・挑戦企業等支援補助制度の内容を拡充し、重点的な支援による参入促進と積極的な取り組みへの後押しを行った。また、航空機部品の一貫生産体制構築やPR・販路開拓に取り組む企業グループに対し、活動費用の一部を補助するとともに、経験豊富なコーディネーターによる受注獲得等の支援を行った。
2 神戸医療産業都市の推進 【28年度の取組み実績】 ・国家戦略特区プロジェクトとして、iPS細胞を用いた網膜再生医療等の研究から実用化までを行う神戸アイセンターを整備に着手。 ・さらなる創薬関連企業を誘致しオープンイノベーションを推進するため、「神戸医療イノベーションセンター」を整備。 ・スーパーコンピュータを使った創薬(インシリコ創薬)のためのアプリケーションを開発。 ・他人のiPS細胞を使った網膜細胞の移植に関する臨床研究を進め、日本で1例目となる移植手術を神戸市立医療センター中央市民病院で実施(平成29年3月)。 ・平成29年3月末時点で、医療産業都市への進出企業数は336社、雇用者数は約9,200人となった。
3 「(仮称)インダストリー4.0 神戸プロジェクト」の推進 【28年度の取組み実績】 航空機分野におけるIoTを活用した「つながる工場」モデルの実証事業として、航空機部品製造に携わる中小企業向けの生産管理システムを構築した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

4 水素産業の育成

【28年度の実績】

- ・地元中小企業に対する水素関連産業への参入を促進するため、地元中小企業の技術シーズに関する水素産業事業化可能性調査を実施した。
- ・平成28年度末の水素産業参入企業数は、11社に増加した。

5 ロボット産業都市の推進

【28年度の実績】

今後のロボット市場の拡大がもたらす経済効果の市内経済への波及促進をはかるため、専門コーディネーターによる全国の大企業と市内中小企業とのマッチングを促進するとともに、ロボット分野の研究者を招聘した「神戸ロボットアイデアソン」を開催し、地元中小企業と共同で先端技術を活用したロボットの開発を行った。

6 IT・データを活用した施策の推進

【28年度の実績】

神戸市オープンデータポータルサイト上でデータを整理・公開するとともに地理情報システム（GIS）で地図上に分かりやすく市民・事業者へ提供し、IT・データに基づく協働と参画に寄与した。

また、NTTドコモ「ICT及びデータ活用に関する事業連携協定」を締結し、BLEタグを使用した見守り実証の実施や、ドコモ・アシックスと連携した神戸マラソンでのウェアラブル実証事業の実施など、産学官連携によるデータ活用のための協働体制を構築して新たな市民サービスの創出に取り組んだ。

さらに、ITやデータを活用する意識の向上のための職員向け及び市民向け研修「データアカデミー」の開催や「神戸・バルセロナ連携国際ワークショップ」の開催など、地域課題の解決のためのIT人材育成に取り組んだ。

7 アフリカなど成長市場との経済交流

【28年度の実績】

アフリカ・ルワンダへの進出・展開を検討する市内IT関連事業者向けセミナーや勉強会、アフリカからの留学生の市内IT関連企業へのインターンマッチングを実施した。また、市内IT関連事業者によるアフリカ現地ミッションの派遣を行った。

【KPI 28年度実績】

- ・神戸市の航空機関連の製造品出荷額 629億円（平成26年）
- ・市内中小企業に対する航空・宇宙分野の新規参入・受注拡大支援企業数 27社
- ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 77社(再掲)
- ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 2,820人(再掲)
- ・大手企業等との共同開発や部材提供等による水素産業参入企業数 11社
- ・ロボット産業への新規参入企業数 11社
- ・サービスロボットの製品化件数 13件
- ・オープンデータ公開件数 145件（平成27～28年）
- ・アフリカ市場におけるビジネス創出件数 2件

●具体的な施策(4)次代の基幹産業の育成・振興 ②

1 「食都 神戸2020」構想のさらなる推進

【28年度の実績】

- ・ローカルプログラム(市内向けプログラム)としては、地産地消のライフスタイル化の推進のため、東遊園地でのファーマーズマーケットを開催した。また、神戸市内の農漁業者、企業、大学が一体となって、神戸産農水産物の新たな「ものづくり」と三者の「ネットワークづくり」をすすめる「KOBEにさんがるプロジェクト」を実施した。
- ・グローバルプログラム(世界向けプログラム)としては、行政・生産者・流通業者等で組織する「食都神戸」海外展開促進協議会が主体となって、世界最大級の食の見本市「香港フードエキスポ2016」への出展や、香港での「神戸フェア」の開催、シンガポールやアメリカでの試験販売などを行い、イチゴやイチジク、ブランデー、菓子類の輸出を実現した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

2 新たな農業関連産業の創出

【28年度の取組み実績】

神戸フルーツ・フラワーパークでは、平成27年度に引き続き、農業ICT導入実証、人工光型植物工場を活用した戦略作物の生産実証、新規就農者や農業サポーターを育てる人材育成事業などを行い、例えば農業ICT導入実証では、最先端園芸ハウス事業をはじめ、環境制御装置を備えた温室に温度や湿度などを測定するセンサーを設置し、そのデータを利活用するイチゴ栽培や、花き・野菜の苗木の育成試験などに取り組んだ。

また、市内農家のハウス12か所に農業ICTセンサーを試行的に設置し、勉強会を開催するなど、農家と連携した取り組みを実施した。

3 新たな「道の駅」の整備・活用

【28年度の取組み実績】

情報発信施設や物販・飲食施設、防災備蓄倉庫等の整備を行い、新たな「道の駅」（神戸フルーツ・フラワーパーク大沢）が平成29年3月30日にオープンした。

【KPI 28年度実績】

- ・ファーマーズマーケット年間開催回数・来場者数40回、34,000人
- ・農水産物輸出品目数 8品目
- ・農業へのICT導入人数 1人
- ・新たな「道の駅」の年間来場者数 12,581人

●具体的な施策(5)神戸の中小企業・商業事業者等の競争力強化

1 神戸の産業の国際化推進

【28年度の取組み実績】

海外ビジネスコーディネーターを東南アジア地域としてシンガポール、欧州地域として英国のロンドンに、1名ずつ配置。

東南アジア地域においては神戸市内企業の販路開拓支援および現地市場調査等、欧州においては企業誘致を主要業務として情報収集・発信・マッチングに取り組んだ。

また欧州ビジネスコーディネーターの協力により、日本政府観光局ロンドン事務所と連携して9月にはロンドンの旅行雑誌記者、12月には同じロンドンの旅行会社から記者を招聘した。旅行雑誌では有馬温泉、北野、灘の酒、神戸ビーフなど主要観光地や神戸の食が掲載された。また旅行会社からは人と防災未来センターや竹中工道具館など神戸の歴史・文化が学べる場所についての取材があり情報発信された。

2 中小企業等の海外展開促進支援の実施

【28年度の取組み実績】

海外展開に伴う販路拡大、本社への利益還元等を通じた地域経済の活性化のため、市内中小企業を対象に登録アドバイザーの派遣や各種セミナー、海外現地での商談会の開催、海外展示会出展に伴う補助金交付などを行った。

3 水・インフラ事業の海外展開に向けた地元企業等の支援の実施

【28年度の取組み実績】

・名古屋市とJICAと連携してスリランカでの水道に関する技術協力プロジェクトの立上げを進めており、現地調査を行い、支援ニーズの把握を行った。また、スリランカ進出を目指す地元企業に対して事業スキームの助言などの側面支援を行った。

・JICA課題別研修を受け入れ、研修員と地元企業等とのビジネスマッチングを図った。

・平成29年3月時点で5社と「水・インフラ事業の海外展開等に関する相互協力協定」を締結している。

4 「(仮称)インダストリー4.0 神戸プロジェクト」の推進

【28年度の取組み実績】

航空機分野におけるIoTを活用した「つながる工場」モデルの実証事業として、航空機部品製造に携わる中小企業向けの生産管理システムを構築した。

5 航空・宇宙産業の育成

【28年度の取組み実績】

航空・宇宙分野を含む戦略産業分野について、中小製造業投資促進等助成制度・挑戦企業等支援補助制度の内容を拡充し、重点的な支援による参入促進と積極的な取り組みへの後押しを行った。また、航空機部品の一貫生産体制構築やPR・販路開拓に取り組む企業グループに対し、活動費用の一部を補助するとともに、経験豊富なコーディネーターによる受注獲得等の支援を行った。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」検証シート

6 神戸医療産業都市の推進

【28年度の実績】

- ・国家戦略特区プロジェクトとして、iPS細胞を用いた網膜再生医療等の研究から実用化までを行う神戸アイセンターを整備に着手。
- ・さらなる創薬関連企業を誘致しオープンイノベーションを推進するため、「神戸医療イノベーションセンター」を整備。
- ・スーパーコンピュータを使った創薬(インシリコ創薬)のためのアプリケーションを開発。
- ・他人のiPS細胞を使った網膜細胞の移植に関する臨床研究を進め、日本で1例目となる移植手術を神戸市立医療センター中央市民病院で実施(平成29年3月)。
- ・平成29年3月末時点で、医療産業都市への進出企業数は336社、雇用者数は約9,200人となった。

7 産学金官の連携による競争力強化支援の実施

【28年度の実績】

新製品・新技術の開発に向けた補助金申請や機器利用、新商品向けのデザイン支援を14件実施した。

8 商店街・小売市場の空き店舗への挑戦

【28年度の実績】

- ・地域商業活性化支援事業等により、「集客力向上・売上向上・地域課題解決」をめざし、商店街・小売市場が自ら企画・提案する事業を一括して柔軟に支援することで、地域の個性を活かした取り組みによるまちの魅力とにぎわいの創出をはかった。
- ・民間企業と商店街をマッチングさせた「民間活力を導入した空き店舗対策プロジェクト」では、空き店舗の増加・後継者不足をテーマとする民間企業の提案による活性化事業を、昨年度に引き続き支援した。
- ・また、兵庫県宅地建物取引業協会が運営する兵庫不動産ポータルサイト「はとらぶ」内に、神戸市の商店街・小売市場内の空き店舗情報を集約したサイト「神戸市商店街・市場空き店舗情報NAVI」を新たに立ち上げ、情報をタイムリーに広く発信することで、商店街・小売市場内の空き店舗の解消や利用促進を図り、商店街・小売市場の活性化に繋がった。

【KPI 28年度実績】

- ・海外展示会等出展数 45社
- ・神戸市の航空機関連の製造品出荷額 629億円(平成26年)
- ・市内中小企業に対する航空・宇宙分野の新規参入・受注拡大支援企業数 27社(再掲)
- ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 77社(再掲)
- ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 2,820人(再掲)
- ・神戸リエゾン・ラボ(ものづくり工場内)活用による新規開発件数 14件
- ・空き店舗年間解消件数 39件

●具体的な施策(6)人材の確保・育成

1 大学等の集積を活かした人材の育成・定着

【28年度の実績】

大学等が持つ優れた知的資源をまちづくりや経済の活性化等に生かしていくため、市内24の大学・短大、高専と「市長と学長との懇談会」や「市長と学生とのディスカッション」を開催するとともに、大学と行政・地域等との橋渡しを行う等、連携促進をはかった。

2 グローバル人材の集積・育成

【28年度の実績】

市内中小企業が留学生の雇用について学ぶとともに、実際に留学生と交流する機会を持つことで外国人材の雇用への理解を深めることを目的とした「神戸グローバル経営塾」を開催した。また、留学生の雇用に伴う相談についてアドバイザーの派遣を行い、外国人材の雇用を支援した。

3 ものづくり人材確保・育成支援事業

【28年度の実績】

中小製造業者の従業員を対象とした基礎的研修を開催し、人材育成及び定着を支援した。また、平成28年9月から厚生労働大臣の許可を得て無料職業紹介事業を開始し、中小製造業者の人材確保を支援した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<p>4 航空・医療・ロボット分野における新たな教育プログラムの実施</p> <p>【28年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度以降の教育プログラム実施に向けて、航空・医療・ロボット分野について、民間事業者や専門家等による検討会を設置するなど準備を進めた。 ・平成29年3月に募集を開始し、4月に出願受付、5月に選考した。（校空宇宙分野14名、医療福祉分野14名、ロボット分野10名が履修予定）
<p>5 大学等と連携した海事人材の育成と港湾技術継承の拠点づくり</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>神戸開港150年を機に、一般財団法人港湾労働安定協会が設置運営する港湾技能研修センター(※)の誘致に取り組み、ポートアイランドへ移転拡充することが決定した。</p> <p>※現在愛知県豊橋市に立地し、港湾荷役機械操作等の業務に従事できる技能労働者の育成のための訓練を行う職業訓練施設</p>
<p>6 奨学金を活用した大学生等の地方定着の促進</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>市民協働プロジェクトチーム「若者に選ばれるまちPT」での提案を受けた、「起業家の奨学金返還支援制度」及び、国の「奨学金を利用した大学生等の地方定着の促進」制度を利用した、「戦略産業等就職者の奨学金返還支援制度」を、それぞれ創設することになり、制度設計を進めた。</p> <p>また、兵庫県との協調により開始した中小企業奨学金返済支援制度の28年度申請は県全域で6社6名であり、そのうち神戸市の補助対象（事業所の所在地及び支援対象の従業員の住所地が神戸市内）は1社1名であった。</p>

<p>【KPI 28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・教職員に対する市内就職の意識啓発、市内企業とのマッチング等の年間実施件数 5件 ・就労目的の在留資格を持つ外国人の数 4,910人 ・中小製造業と若年者との年間マッチング件数 16件 ・神戸市立工業高等専門学校における新たな教育プログラムの設置件数 3件
--

2 若者を惹きつける魅力づくり

●具体的な施策(1)移住・定住の促進

<p>1 移住促進に向けた都市プロモーションの展開</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>市外在住の若年層を主なターゲットとして、市内での移住体験事業「LIVE LOVE KOBE（リラブ神戸）」や特設WEBサイト「KOBE live+work（神戸リアンドワーク）」を核としたプロモーションを実施し、神戸市の居住地としての魅力を発信した。また、兵庫県と協調して首都圏での情報発信や相談対応を実施し、移住を検討している方の後押しをはかった。</p>
<p>2 首都圏からの高度人材獲得</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>首都圏からの高度人材獲得を目的とした「神戸市キャリアセミナー」を㈱ビズリーチ主催で実施した（参加企業5社、来場者数67名、参加メディア6社）。</p>
<p>3 神戸版CCRC構想の検討</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>導入についての検討を行った。</p>
<p>4 「神戸のライフスタイル」魅力の可視化・発信</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>神戸の観光魅力の本質である「ライフスタイルの魅力」を可視化するため、メディア発信や首都圏におけるイベント等を組み合わせた複層的なプロモーションを展開したほか、急増するインバウンド市場に対応するため、引き続き海外ネットワーク拠点による通年プロモーションを実施した。また、神戸ならではの特別感のあるまち歩きや体験を行う「おとな旅・神戸」の実施により、神戸の新たな楽しみ方の発信に努めたほか、神戸フィルムオフィスによる映像作品誘致を通じ、映像を通じた神戸のまちの発信に努めた。</p>

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

5 神戸地場産業のプロモーション

【28年度の取組み実績】

(株)ビームストと神戸市に本社を置くメーカーがコラボ商品の開発及び東京やW E B 上において販売を行うことで、神戸地場産品の高付加価値化及び新規販路開拓を図った。また、神戸ガイドブックの販売やS N Sの活用により、神戸の地場産業の知名度向上を図るとともに、神戸のライフスタイルを通じたまちの魅力を発信した。

【KPI 28年度実績】

- ・市内宿泊客数 506万人（平成28年）
- ・外国人観光客数 124万人（平成28年）
- ・観光入込客数 3,500万人（平成28年）
- ・観光消費額 3,182億円（平成28年）
- ・「MADE IN KOBE」プロダクト(コラボ商品)の商品化件数 24件

●具体的な施策(2)大学等の活性化

1 大学等の集積を活かした人材の育成・定着

【28年度の取組み実績】

大学等が持つ優れた知的資源をまちづくりや経済の活性化等に生かしていくため、市内24の大学・短大、高専と「市長と学長との懇談会」や「市長と学生とのディスカッション」を開催するとともに、大学と行政・地域等との橋渡しを行う等、連携促進をはかった。

2 大学生等の市内就職の推進

【28年度の取組み実績】

合同企業説明会を2回、合同就職面接会を2回、合計4回実施した（累計参加企業：250社 累計参加者数：687名）。

3 グローバル人材の集積・育成

【28年度の取組み実績】

市内中小企業が留学生の雇用について学ぶとともに、実際に留学生と交流する機会を持つことで外国人材の雇用への理解を深めることを目的とした「神戸グローバル経営塾」を開催した。また、留学生の雇用に伴う相談についてアドバイザーの派遣を行い、外国人材の雇用を支援した。

【KPI 28年度実績】

- ・学生・教職員に対する市内就職の意識啓発、市内企業とのマッチング等の年間実施件数 5件(再掲)
- ・就労目的の在留資格を持つ外国人の数 4,910人(再掲)

●具体的な施策(3)都心・三宮の再整備

1 三宮周辺地区の『再整備基本構想』の推進

【28年度の取組み実績】

・平成27年9月に策定した神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン] および三宮周辺地区の『再整備基本構想』の具現化に向けた取組みを推進した。

・平成28年11月には、民間事業者へのインセンティブとして、より有利な税制支援が用意されている特定都市再生緊急整備地域への指定を受けることが出来た。12月にはスケジュール感やスピード感を持って事業の推進を図るとともに、市民に対し「都心の動き」を目に見える形で示すために都心・三宮の再整備に関するアクションプランを公表した。

・また、平成29年3月には、新たな中・長距離バスターミナル整備に向けた基本計画（案）の策定に向け、具体的方策の提案や助言をいただくため、民間事業者からアドバイザーを公募・選定した。

2 公共交通を中心とした安全で快適な交通環境の形成

【28年度の取組み実績】

・神戸市地域公共交通活性化協議会において、交通事業者、市民代表、学識経験者、関係行政機関と協議を行った上で、平成28年度末に神戸市地域公共交通網形成計画を策定した。

・北区八多町、北区大沢町、垂水区塩屋地域において、コミュニティバスによる試験運行を実施した。

・現状の交通課題を調査・分析し、自動車交通のマネジメント、歩行環境の向上、公共交通など多様な交通手段の確保の視点から交通体系の検討を進めた。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<p>3 快適で便利な公共交通の推進</p> <p>【28年度の取組み実績】 神戸市内の路線バスの利用促進・利便性向上を図るため、市内の全路線バス事業者12社局を構成員とした「神戸市路線バス利用促進協議会」を立ち上げ、各交通事業者及び行政等の連携による各種施策の実施に向けた検討を進めた。平成28年度はK O B E バスマップ(ホームページ版)を作成・公開した。 一方、三宮周辺で発着しているバス事業者の代表と行政による研究会を平成28年11月、平成29年3月の2回開催した。バス乗降所のあり方及び新たなバスターミナルの整備に向けた検討・調整を行い、今後も継続して実施する。 また、過年度作成していた三宮周辺バス乗り場案内マップをKOBEバスマップ(HP版)とあわせて、市HPに掲載した。</p>
<p>4 景観の高質化</p> <p>【28年度の取組み実績】 ・神戸の都心の未来の姿(将来ビジョン)、三宮周辺地区の「再整備基本構想」が平成27年9月に策定されたのをふまえ、三宮駅周辺における「えきまちなみ空間基本計画」の策定に向けた景観のあり方について検討した。 ・「再整備基本構想」の策定後初めての大規模建築計画となる(仮称)神戸阪急ビル東館建て替え計画において、同構想及び神戸市景観計画等に基づき、引き続き景観調整を行った。 ・景観法、都市景観条例等の規定に基づく届出の際に景観調整を行ったほか、一定規模以上の建築物については届出前に景観デザインに関する協議を行うことを条例に位置付けており、神戸市都市景観審議会景観アドバイザー専門部会を開催(17回)した。 ・三宮駅前景観形成連絡協議会のほか、都心地域の各協議会が、引き続きガイドラインや市民協定を運用し、景観調整を行った。</p>
<p>5 魅力的な公共空間の創出</p> <p>【28年度の取組み実績】 都心部における人に優しく快適な道路空間の創出を目指し、路線の特性等に応じて歩行者、自転車、自動車などのバランスよい組み合わせを検討し、歩行者を中心としたゆとりある空間作りに取り組んでいる。 ・葺合南54号線(L=750m)の一部130mにおいて、1車線削減し、歩道を広げる工事を完了した。 ・三宮中央通り地下通路及び平成28年2月に愛称が決定した三宮プラッツ(サンクンガーデン)において、音楽ライブやマルシェなど、にぎわい創出に向けたモデル事業を実施した。また、市民や沿道企業等の意見を取り入れながら、ニーズの把握やハード・ソフト面の課題を整理し、地下公共空間のあり方を検討した。 ・三宮中央通り(L=600m)において、賑わいや憩い機能を創出するため、KOBEパークレット設置の社会実験を実施した。 ・その他、元町駅周辺エリアについて、回遊性向上に向けた検討を行った。 ・また、歩行者と物理的に分離し、安全かつ快適な自転車走行空間の整備に向け、葺合南33、34号線、磯辺線の設計を行った。 ・東遊園地については、さらなる日常的なにぎわいや利活用を創出するため、芝生化実験やにぎわい創出実験の実施と併せて再整備検討委員会を開催し、再整備に向けた基本構想(案)をまとめた。</p>

<p>【KPI 28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宮駅周辺ビル再建等検討件数 5件 ・フラワーロード光のミュージアム整備延長 0.4km ・都心部における公共空間のリデザイン実施延長 0.63km

●具体的な施策(4)開港150年・ウォーターフロントの再整備

<p>1 新港突堤西地区等の再開発</p> <p>【28年度の取組み実績】 新港第3突堤基部に、港湾労働者や市民の交流の場となる神戸港福利厚生施設「神戸ポートオアシス」の建設に着手。また、新港第1突堤基部では、複合再開発事業の事業化に向け、国有地取得等を行った。</p>
<p>2 市民と港湾関係者が集い交流する施設の整備</p> <p>【28年度の取組み実績】 施設の名称を公募、選考の結果「神戸港福利厚生施設神戸ポートオアシス」と決定、平成29年6月30日、起工式及び命名者表彰式を行った。指定管理者については、(一財)神戸港湾福利厚生協会を選定した。</p>
<p>3 メリケンパークの再整備</p> <p>【28年度の取組み実績】 開港150年記念事業として、メリケンパークのリニューアル工事に着手。また、新たな賑わい創出として、公園内に飲食店の事業者公募を行った。</p>

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

4 須磨海岸エリアの再整備
<p>【28年度の取組み実績】 JR須磨駅前エリアの遠浅海岸整備及び階段護岸・遊歩道・照明設備・トイレ・公園等の整備を行った。</p>
5 夜間景観の演出
<p>【28年度の取組み実績】 ウォーターフロントエリアのさらなる魅力向上に向け、メリケンパークやリバーモールのライトアップ設備などの整備を行った。</p>
6 都心からのアクセス機能や回遊性の向上
<p>【28年度の取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LRT・BRTについて、平成26年度に事業者5社より事業計画のアイデアを基に、物理的課題や運営体制等、様々な課題に対して検討を深めるとともに、関係者等との協議も進めた。 ・ワンウェイ型カーシェアリングについて、平成27年度に実証実験「sea:mo」(シーモ)を実施した結果、現状のスキームでは事業化は困難なため、事業スキームなどを再検討した。 ・ハーバーランド整備事業について、平成28年度はデュオこうべ浜の手再整備のうち、地下部案内サインの整備を含む一部を繰越し、平成29年5月末に工事が完了した。地上部案内サインについては平成29年度中に整備完了の予定。 ・メリケンパークのリニューアルに合わせて、周辺の新たな歩道整備や拡幅を実施した。 ・案内サイン整備については、新仕様書に基づき新港西・中突堤地区で8基設置した。

<p>【KPI 28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住機能の導入及び新たな施設立地による年間集客人数 - (平成33年度以降) ・市民と港湾関係者の交流施設(多目的スペース)の利用率 - (平成29年度以降) ・須磨海岸年間来場者数 80万人 ・須磨海岸の健全度の向上(ファミリー向けイベント年間開催件数の増加) 84件 ・神戸港の夜間景観演出エリアの拡大件数 6エリア
--

●具体的な施策(5)新長田地区の活性化

1 新長田駅南再開発エリアへの兵庫県・神戸市関係機関の共同移転
<p>【28年度の取組み実績】 新長田合同庁舎の基本設計および実施設計を進め、地元に対して事業計画変更の説明会を行った。また、共同移転に関するPR看板を作成し、建築敷地及びJR・地下鉄駅4箇所に設置、並びにまちづくりニュースを3回発行した。</p>
2 くにづかりボーンプロジェクトの推進
<p>【28年度の取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業活性化モデル事業第二弾「アジアン・マーケット・スクエア」開業 ・集客力あるテナントリーシングの実施
3 市街地西部地域の活性化
<p>【28年度の取組み実績】 外部有識者と所管部署の職員による「地下鉄海岸線・市街地西部活性化コンソーシアム」を開催するとともに、民間事業者からの提案による活性化事業の実現・定着に向けた取り組みを進めた。また、兵庫運河の活性化に向けて、新川運河においてはプロムナードやライトアップ整備に着手し、清盛橋～住吉橋間においては親水空間の整備を完了した。さらに、アニメーション神戸関連事業として、「KOBEぽっぴカルチャーフェスティバル」を開催する等、市街地西部地域の活性化に取り組んだ。</p>

<p>【KPI 28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新長田駅南再開発エリアの夜間人口 5,852人(平成28年7月) ・新長田駅南再開発エリアの昼間人口 - (次回は平成31年、5年ごと)
--

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」検証シート

●具体的な施策(6)「神戸里山暮らし」の推進

1 「神戸里山暮らし」の推進

【28年度の取組み実績】

地域団体が地域の特色を活かして実施する里づくり事業への支援を拡充するとともに、地域の計画づくりの一部を大学研究室やコンサルタントに委託することにより、里づくり計画の策定・見直しを進め、農村地域の魅力アップをはかった。

また、農村地域の空家や農地情報を集約し、興味のある都市住民を農村地域への移住・定住につなぐコーディネーターの配置に加え、空家バンクの運営、空家改修の補助など、定住促進につながる支援制度を創設し、都会の利便性と田舎の心地よさを兼ね備える「神戸・里山暮らし」を促進した。

【KPI 28年度実績】

- ・新規就農者数 45人
- ・農村部への移住・起業数 31件

●具体的な施策(7)六甲山の魅力化促進

1 緑豊かな六甲・摩耶の活性化

【28年度の取組み実績】

- ・摩耶山周辺ハイキングコース、摩耶自然観察園の整備や、山麓電飾の灯具新設を行った。
- ・東遊園地で開催されたファーマーズマーケットに、森林整備により発生した木材を用いたテーブルを設置した。
- ・下唐櫃地区の森林再生と共に地域活性について「森林再生・地域資源活用プロジェクトチーム」を発足した。

2 六甲・摩耶観光の振興

【28年度の取組み実績】

地域住民や山上事業者等と協働し、六甲・摩耶山ならではの時間を過ごすことができるイベントの実施や観光案内拠点の運営、「山の日」の施行を記念したイベントなどのプロモーションや山上観光案内板の多言語化、山上遊休施設の活用調査を実施した。

【KPI 28年度実績】

- ・六甲・摩耶の観光入込客数 204万人（平成28年）

●具体的な施策(8)神戸ブランドを牽引する魅力あふれるまちづくり

1 歴史的建築物等の保全活用

【28年度の取組み実績】

- ・都市景観審議会の部会において、歴史的建築物の評価と保全活用に向けた支援策等の検討を行った。
- ・都市景観条例に基づく景観形成重要建築物として、旧ドレウエル邸（ラインの館）を指定した。
- ・歴史的建築物等に関する普及啓発イベントを実施する団体を公募し、実施にかかる費用に対する補助を行った。（3団体）

2 神戸ブランドを牽引する住宅地の保全と育成

【28年度の取組み実績】

①山の手住宅地の保全（ルールづくり）のための実績

- ・景観資源基礎調査（歴史的建築物、石積擁壁、緑樹等）の実施
- ・景観上重要な住宅所有者や管理者へ、ヒアリングを行い、維持管理等に関する意向調査を実施

②山の手住宅地の育成（魅力発信）のための実績

- ・現況調査及びニーズ調査として、近年のマンション開発や戸建分譲の動向などを調査しながら、景観上重要な住宅所有者や管理者・開発事業者・地元の不動産等へのヒアリングを実施
- ・有識者等による勉強会の開催（地域の歴史・成り立ち、住宅地の新たな価値についての議論等）

3 神戸らしい音風景の方向性の検討

【28年度の取組み実績】

平成29年5月開催の東遊園地、みなとのもり公園、K I I T Oなどを会場としたクロスメディアイベント「078」に向け調整を行った。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

4 須磨海岸エリアの再整備

【28年度の取組み実績】

JR須磨駅前エリアの遠浅海岸整備及び階段護岸・遊歩道・照明設備・トイレ・公園等の整備を行った。

5 クルーズ客船誘致の強化

【28年度の取組み実績】

・日本を代表するクルーズポートとして、神戸港の優位性を国内外の客船運航会社に発信し、開港150年(平成29年)に向けて、積極的な客船誘致を進め、平成29年3月に世界でもっとも有名な客船といわれる「クイーン・エリザベス」初の日本発着クルーズが神戸港で実施された。

・「クイーン・エリザベス」の入港に合わせて、特別歓送迎事業（花火、バルーンリリース等）を実施した。

・おもてなし機能強化のため、ポートターミナルにおいて、開港150年記念のおもてなし装飾（タペストリー・横断幕の設置、みなとの彩花壇等）やインフォメーションブースの改修、ポートターミナル東側デッキの改修を行った。

【KPI 28年度実績】

・歴史的建築物等の保全活用に向けた景観形成重要建築物等の指定棟数 1棟

・須磨海岸年間来場者数 80万人(再掲)

・須磨海岸の健全度の向上(ファミリー向けイベント年間開催件数の増加) 84件(再掲)

・客船の年間入港隻数 104隻

●具体的な施策(9)観光客の誘致

1 「神戸のライフスタイル」魅力の可視化・発信

【28年度の取組み実績】

神戸の観光魅力の本質である「ライフスタイルの魅力」を可視化するため、メディア発信や首都圏におけるイベント等を組み合わせた複層的なプロモーションを展開したほか、急増するインバウンド市場に対応するため、引き続き海外ネットワーク拠点による通年プロモーションを実施した。また、神戸ならではの特別感のあるまち歩きや体験を行う「おとな旅・神戸」の実施により、神戸の新たな楽しみ方の発信に努めたほか、神戸フィルムオフィスによる映像作品誘致を通じ、映像を通じた神戸のまちの発信に努めた。

2 メディアの複合的な活用による訪日観光・神戸ブランドPRの推進

【28年度の取組み実績】

外国人観光客のさらなる集客を目的として、ダイレクトに神戸の魅力を伝えるため、旅行番組や雑誌、ウェブジャーナリストなど様々なメディアを対象に、招請事業を行った。また、ネットワーク拠点を設置し、通年プロモーションによる現地目線でのメディア発信等を行った。

3 地域全体の観光マネジメントを一本化するプラットフォームの構築

【28年度の取組み実績】

地域全体の観光マネジメントを一本化するプラットフォームの機能を持つ（仮称）神戸DMO構築に向けた検討を行うため、平成28年8月に、市と神戸国際観光コンベンション協会が共同で外部有識者を交えた検討委員会を発足した。

4 ICTを活用したおもてなし環境の構築

【28年度の取組み実績】

外国人観光客の受入環境向上をはかるため、KOBE Free Wi-Fiによる無料公衆無線LANサービスを提供するとともに、利用可能エリアのさらなる拡大のため、市内観光関連施設等のアクセスポイント整備を支援した。また、現在提供しているアプリケーション（KOBE Official Travel Guide）について、神戸スイーツなどの市内観光関連情報や観光客に便利な機能を充実させた。

5 夜間景観を活かした新たな魅力づくり

【28年度の取組み実績】

夜間景観形成実施計画に基づき、フラワーロード「光のミュージアム事業」や神戸大橋のライトアップを実施し、推進委員会の開催(3回)、都心夜景10選MAP多言語版（英語、中国語2種、韓国語）、夜間景観NEWSの発行、夜間景観形成ガイドライン(南京町)の策定を実施した。

6 須磨海岸エリアの再整備

【28年度の取組み実績】

JR須磨駅前エリアの遠浅海岸整備及び階段護岸・遊歩道・照明設備・トイレ・公園等の整備を行った。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<p>7 クルーズ客船誘致の強化</p> <p>【28年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本を代表するクルーズポートとして、神戸港の優位性を国内外の客船運航会社に発信し、開港150年(平成29年)に向けて、積極的な客船誘致を進め、平成29年3月に世界でもっとも有名な客船といわれる「クイーン・エリザベス」初の日本発着クルーズが神戸港で実施された。 ・「クイーン・エリザベス」の入港に合わせて、特別歓送迎事業（花火、バルーンリリース等）を実施した。 ・おもてなし機能強化のため、ポートターミナルにおいて、開港150年記念のおもてなし装飾（タペストリー・横断幕の設置、みなとの彩花壇等）やインフォメーションブースの改修、ポートターミナル東側デッキの改修を行った。
<p>8 神戸らしい景観が見える場所の整備・育成</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>第3回神戸市都市デザイン賞の一部門としてフォトコンテストを実施し、入賞作等を活用してビューポイントをPRするパンフレットとGISを活用したホームページを作成した。</p>
<p>9 歴史的建築物等の保全活用</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>都市景観審議会の部会において、歴史的建築物の評価と保全活用に向けた支援策等の検討を行った。</p> <p>都市景観条例に基づく景観形成重要建築物として、旧ドレウエル邸（ラインの館）を指定した。</p> <p>歴史的建築物等に関する普及啓発イベントを実施する団体を公募し、実施にかかる費用に対する補助を行った。（3団体）</p>
<p>10 神戸地場産業のプロモーション</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>(株)ビームと神戸市に本社を置くメーカーがコラボ商品の開発及び東京やWEB上において販売を行うことで、神戸地場産品の高付加価値化及び新規販路開拓を図った。また、神戸ガイドブックの販売やSNSの活用により、神戸の地場産業の知名度向上を図るとともに、神戸のライフスタイルを通じたまちの魅力を発信した。</p>
<p>11 G7神戸保健大臣会合等を契機とした神戸の発信</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>兵庫県・神戸市・経済団体等からなる「G7神戸保健大臣会合推進協議会」では、G7神戸保健大臣会合にあわせて、兵庫・神戸の魅力や神戸医療産業都市などの取組みを発信した。</p>
<p>12 MICEの推進</p> <p>【28年度の実績】</p> <p>MICE開催における神戸市への経済波及効果や都市ブランドの向上をめざし、MICE誘致を強力に進めていくための専門人材「MICEマネージャー」を設置するとともに、コンベンション主催者のすそ野を広げるための大学連携強化のほか、海外見本市出展等の海外プロモーションを行った。また、インセンティブツアー誘致の更なる強化をはかるため、海外拠点機能を整備した。</p>
<p>【KPI 28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内宿泊客数 506万人（平成28年）（再掲） ・外国人観光客数 124万人（平成28年）（再掲） ・観光入込客数 3,500万人（平成28年）（再掲） ・観光消費額 3,182億円（平成28年）（再掲） ・観光客向け公式スマートフォンアプリ総ダウンロード数 41,378ダウンロード（平成29年3月末時点） ・フラワーロード光のミュージアム整備延長 0.4km(再掲) ・須磨海岸年間来場者数 80万人 ・須磨海岸の健全度の向上(ファミリー向けイベント年間開催件数の増加) 84件(再掲) ・客船の年間入港隻数 104隻(再掲) ・歴史的建築物等の保全活用に向けた景観形成重要建築物等の指定棟数 1棟(再掲) ・「MADE IN KOBE」プロダクト(コラボ商品)の商品化件数 24件(再掲) ・国際会議の開催件数 361件 ・中・大規模の国内会議の開催件数 54件

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

●具体的な施策(10)芸術・文化、スポーツの振興

1 神戸の文化・芸術の創造発信プロジェクト

【28年度の取組み実績】

①神戸文化ホールあり方検討・調査

将来を見据えて施設の見直しを図るため、文化ホールの今後のあり方について検討を行い、建替えを前提とした「神戸文化ホールあり方検討のまとめ」を公表した。

②快適な都市空間づくりに向けた検討・調査

三宮都心部においてストリートライブ（全7回）を実験的に実施し、将来の展望や課題の抽出を行い、都心三宮再整備の中でストリートライブのある風景を創出していくための施設整備及び空間整備の工夫・アイデアについて報告書をまとめた。

③「港都K O B E 芸術祭」のプレイベントの実施

平成29年3月に事業計画を発表（平成29年9月～10月開催）し、会期前からの周知を図るため、市民向けのプレイベントを開催した。

2 神戸国際フルート音楽祭の開催

【28年度の取組み実績】

課題とされていた市民への浸透・還元や、都市の見局工場と活性化に資するため、音楽関係者・マスメディア・企業などで組織される「神戸国際フルート音楽祭企画検討会議」を開催し、事業概要を決定し、平成29年3月18日から事業数130を超える「神戸国際フルート音楽祭」をスタートさせた。

3 大規模スポーツイベントを通じた魅力の発信

【28年度の取組み実績】

・「第6回神戸マラソン」の開催では、震災復興の教訓と感謝を国内外に発信する取り組みとして、「感謝と友情のひまわり」や被災地交流事業を継続実施した。また、クォーターマラソンの定員2千人をマラソンに統合し、2万人のフルマラソン大会として実施した。

・「東京2020オリンピック・パラリンピック」の事前キャンプ誘致に向けて、競技団体同士の交流や人的ネットワークを活用した効果的な誘致活動を行うため、『KOBECAMP誘致プロジェクトチーム』を創設した。

・「ラグビーワールドカップ2019」の神戸開催成功に向け日本代表戦のパブリックビューイング（平成28年6月18日）や、大会開催1,000日前イベント（平成28年12月17日）などラグビーの楽しさを共有できるイベントを実施した。

・4年に1度の生涯スポーツの国際総合競技大会である「ワールドマスターズゲームズ2021関西」において実施する全32競技55種目及び競技開催地が発表され、神戸市では6競技（陸上競技<競歩>、バスケットボール、オリエンテーリング<スプリント>、卓球、野球<硬式野球>、水泳<競泳>）の開催が決定した。

【KPI 28年度実績】

・まちかどでのステージ観客数 10,540人

・神戸市で開催される国際級・全国級スポーツイベントの開催件数 累計60件（平成27年度：31件、平成28年度：29件）

3 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり

●具体的な施策(1)妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援

1 出会い・結婚の促進

【28年度の取組み実績】

兵庫県と協働し、市内各施設や事業所において「ひょうご出会いサポートセンター」の広報・周知を実施した。

2 妊娠へのサポート・産後ケアの充実

【28年度の取組み実績】

妊婦健康診査に対する公費助成を引き続き行うとともに、生後4か月を迎えるまでの乳児のいる全世帯を対象とする新生児訪問指導や乳幼児健康診査を行い、乳児と保護者の心身の様子や養育環境を把握し、健康の保持増進や育児支援、児童虐待の防止に努めた。

また、医療費の負担が大きい特定不妊治療（体外受精・顕微授精）に要する費用を助成した。

さらに、妊娠に戸惑っている方等の悩みに対し、正しい情報の提供や適切な支援機関につなぐ「思いがけない妊娠SOS」相談事業を実施するとともに、産後の育児不安が強く、家族等の支援が得られない方に宿泊や通所により母親の心身のケアと育児サポートを行う産後ケア事業を実施した。

3 「子育て応援メール」の配信

【28年度の取組み実績】

子育てに関する不安や悩みを軽減し、孤立化を防止するため、妊婦や乳幼児の親やその家族等を対象に、子どもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス、子育てイベントなどの情報を、妊娠週数や月齢に応じてタイムリーにメール配信する「こうべ子育て応援メール」を実施した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

4 子育て世帯への経済的支援の拡充
【28年度の取組み実績】 ・保育料については、多子世帯の経済的負担軽減のため、国制度に上乘せして、年収約360万円以上で年収約520万円以下の世帯について、多子減免にかかる年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料を無償化した。また、県市協調により年収約520万円から約640万円未満の世帯について、5,000円を超える第2子以降の保育料を軽減した。 ・小児慢性特定疾病医療費助成については、小児がん等治療が長期にわたり、医療費の負担が大きい小児慢性特定疾病について、平成28年10月より自己負担金を一律800円に軽減した。（人工呼吸器装着者等については、自己負担金なし） ・こども医療費助成制度については、平成28年7月より、未就学児まで所得制限を撤廃するとともに、3歳児から中学3年生までの外来の自己負担金を1日あたり上限400円（月2回まで・3回目以降無料）に引き下げ、こどもの医療費助成を拡充した。
5 待機児童の解消
【28年度の取組み実績】 ・個々のニーズに応じて、認定こども園・幼稚園・保育所等の教育・保育施設や小規模保育等を利用する保護者に対する給付等を行うほか、保育所等待機児童の解消を目指し、保育所等の新增設や、幼稚園の認定こども園への移行、待機児童の多くを占める3歳未満児を対象とした小規模保育の拡充や事業所内保育の活用などにより、約700人分の保育定員を確保した。 ・保育人材確保への支援を行うとともに、多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育等を実施した。
6 学童保育の拡充
【28年度の取組み実績】 学童保育の過密解消を図るため学童保育コーナーの整備等を進めた。また、ニーズに応じて公設の学童保育施設で開設時間を19時まで延長するとともに、高学年の受け入れを進めた。
7 「こうべ子育て応援プロジェクト」の始動
【28年度の取組み実績】 子育て応援サイト「ママフレ」の更なる充実を図るため、平成29年1月にリニューアルを行い、トップページのデザインを一新したほか、子育て中のママ・パパの声を掲載したインタビュー記事や、年齢等の条件から利用できるサービスを検索できる機能を追加した。 また、子育てに関する不安や悩みを軽減し、孤立化を防止するため、妊婦や乳幼児の親やその家族等を対象に、子どもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス、子育てイベントなどの情報を、妊娠週数や月齢に応じてタイムリーにメール配信する「こうべ子育て応援メール」を実施した。
8 子育て世代包括支援センターの設置
【28年度の取組み実績】 妊娠期から子育て期（就学前）のすべての妊産婦の相談に総合的に対応し、切れ目のない支援を行うため、各区役所・支所・出張所に看護職を1名配置し、区役所窓口の相談・機能強化をはかった。
9 多様な地域子育て支援事業の推進
【28年度の取組み実績】 ・保護者の就労形態の多様化等に伴い生じる保育ニーズに対応するため、保育時間の延長や一時保育等、多様な保育サービスを提供した。また、仕事と子育ての両立支援を図るため、託児スペースとオフィススペースを併設した両立支援拠点の整備支援や、育休明け乳幼児の定期預かり事業「KOBEはじめルーム」を実施した。さらに、地域団体等が実施する小中学生を対象とした食事の提供や学習支援等、放課後等に子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりの取り組みを支援した。 ・ファミリー・サポート・センターについては、協力会員の養成講習会の出張実施を拡大した。また、平成28年10月より、協力会員養成講習会を受けやすくするために日数を3日間（12時間）から2日間（9.5時間）へと短縮した。
10 親・子世帯の近居・同居の促進
【28年度の取組み実績】 平成28年度についても市外からの移転および市街地西部区域への移転を含めて助成事業を継続し、平成25年度からの助成実績は329件となった。また、PRについても、JR西日本京阪神主要駅・沿線保育園等で配布している無料の子育て情報誌に事業広告を掲載するなど、市外の子育て世帯にも広く周知している。
11 特に援助を必要とする家庭への支援
【28年度の取組み実績】 児童虐待防止対策として、虐待の早期発見、未然・再発防止に取り組んだ。また、児童養護施設の入所児童をより家庭的な環境で養育するため、家庭支援専門相談員の配置拡充やファミリーホームの開設支援を実施した。さらに、心身障害福祉センター内の「くすのき学園」「ひばり学園」を総合療育センター内に移転し、「まるやま学園」として統合・再編することにより総合療育センターの機能を拡充した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

12 貧困の連鎖防止も含めたひとり親家庭支援施策の拡充

【28年度の取組み実績】

ひとり親家庭等への支援として、児童扶養手当の支給を行ったほか、ひとり親家庭等医療費助成では、所得制限を緩和するとともに自己負担金を引き下げ、制度を拡充した。また、養育費確保のための無料法律相談、高等職業訓練促進給付金事業を拡充するとともに、就職に有利な資格取得支援事業、高等学校程度卒業認定試験合格支援事業を新たに実施した。

【KPI 28年度実績】

- ・教育・保育施設等の利用定員 705人分の利用定員増により26,250人
- ・学童保育で高学年を受け入れている施設の割合(公設)53.2%
- ・延長保育実利用人数 3,917人
- ・一時預かり利用人数 836,339人
- ・ファミリー・サポート・センター週あたりの活動件数 275件
- ・事業により親・子世帯が近居・同居を行った件数 110件
- ・児童養護施設本体施設への措置・委託児童数の割合 85.3%
- ・グループホームへの措置・委託児童数の割合 5.8%
- ・里親等への措置・委託児童数の割合 8.9%

●具体的な施策(2)教育環境の充実

1 確かな学力の育成

【28年度の取組み実績】

- ・学力の定着・向上、いじめの未然防止と規範意識の向上を図るために、平成28年度は全小・中・義務教育学校に「学ぶ力・生きる力向上支援員」の配置を拡充した。
- ・支援員は学級担任や教科担任と連携して、同室複数指導や少人数指導及び放課後の補充学習等に取り組んだ。
- ・インターネットを介して、個々の児童生徒の習熟度に応じた教材プリントを作成できる学習支援ツールを全小・中・義務教育学校、特別支援学校等へ導入した。

2 「チーム学校」の教育力・組織力の強化

【28年度の取組み実績】

- ・平成29年度よりの教職員の給与負担支給・定数決定等の権限が神戸市へ移譲されたことに伴い、人事・組織面での学校園の裁量拡大を進めるとともに、各学校園においては、校長のリーダーシップのもと、教育活動の充実に向け、学校の組織運営を支える教職員の力をより有効的に活用するなど組織体制の強化に努めた。また、学校の組織力を一層強化し、総力を挙げて学校運営・教育活動に取り組んでいくために、主幹教諭に対して意識改革の徹底を図るとともに、能力向上のための研修を継続実施した。(主幹教諭は226校に524人を任用)
- ・学校だけでは対応・解決が困難なケースについては、学校支援アドバイザー(平成29年 5人)が適宜学校訪問を行うなど対応し、さらに困難なケースでは事務局が事案に応じた学校サポートチームの編成(4回)、ケース会議(15回)等を開催した。
- ・弁護士、警察、児童相談所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の知見を活用する体制をさらに充実させ、学校支援を一層強化していく。

3 安全・安心な学校づくり

【28年度の取組み実績】

- ・建築後30年以上を経過した改修が必要な学校園施設を中心に大規模な老朽改修を実施した。
- ・全学校園の防災教育担当者を対象に、防災教育担当者研修会を2回開催した。また、各校園で、防災マニュアルと防災教育カリキュラムの見直しを行うと共に防災教育を推進した。
- ・教育委員会からは「防犯チェックシート」の活用を呼びかけ、学校園ではチェックシートを活用した授業を実施し、子供たちの防犯意識、危険予測や危険回避する力の向上に取り組んだ。
- ・「子ども見守り活動隊」の構成員に対し、資質向上を目的とした研修会を開催し、子供たちの安全確保に努めた。また、PTAや地域住民等を対象に安全管理研修会を開催した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

4 特別支援教育の推進

【28年度の取組み実績】

- ・通常の学級に在籍している発達障害の可能性のある幼児・児童生徒に対応するために校長研修、教頭研修、夏期集中セミナー、校内研修等を行い、すべての教職員の基礎的知識・理解・対応力の向上を図った。
- ・キャリア教育の充実を目指し、知的障害部門のある全特別支援学校において企業向け学校公開を実施するなど、「就労支援プログラム」を通して社会を生き抜く力を育成することに努めた。
- ・保護者の負担を軽減するとともに児童生徒の社会的自立を促すため、医療的ケアを必要とする児童生徒の在籍する小中学校に、訪問看護ステーションから看護師を派遣した（対象児童生徒5名）また、特別支援学校の医療的ケアを必要とする子供たちが安全に安心して学校生活を過ごすことができるよう、パート看護師を1人増やした（計12人）。
- ・いぶき明生支援学校を平成29年4月に開校できるよう建設を完了し、移転の準備を行なった。また、H A T 神戸地域における知肢併置の特別支援学校の整備に関する調整及び設計業務を実施した。

5 国際的人材輩出校の誘致

【28年度の取組み実績】

国際的人材の輩出を掲げる学校法人に対し誘致活動を実施した。

【KPI 28年度実績】

- ・学習支援ツール導入校数 246校(小学校164校、中学校82校)
- ・グラウンド等学校施設の安全性向上件数 90箇所(運動場：19件、防犯カメラ設置：25件、外壁修繕：17件、遊具改修：4件、フェンス改修：25件)
- ・特別支援学校に配置する看護師1人あたりの医療的ケア対応児童件数 7人
- ・特別支援学校建設(新設2校)の進捗管理 60%

●具体的な施策(3)働き方改革の推進

1 テレワークの推進

【28年度の取組み実績】

以下のセミナー・講習会等を実施した。

- ・市民向けクラウドソーシングセミナー(平成28年9月～10月 2回)参加者数：138名
- ・市民向けクラウドソーシング講習会(平成28年10月～11月 2回)参加者数：27名
- ・スキルチェックテスト等のアフターサポート(～平成29年3月)
- ・企業向けテレワークセミナー(平成28年9月～10月 2回)参加者数：19社・団体、21名
- ・企業向けテレワーク導入支援(平成28年11月～3月)参加企業数：2社

2 女性の活躍推進

【28年度の取組み実績】

- ・いきいき事業所表彰：5社を表彰した。
- ・助成活躍推進プログラム@神戸：女性の活躍推進を支援する研修プログラムを実施した。(23名参加)
- ・女子学生社会人カアッププロジェクト：研修およびいきいき事業所で働いている女性社員との交流会を実施した。(34名参加)
- ・イクボス養成講座：ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた、事業主や管理職に対する研修プログラムを実施した。(38名参加)

3 女性の就職・再就職支援

【28年度の取組み実績】

女性のための相談・セミナーを実施するとともに、専業主婦ワーキングによる実態調査を行った。
また、未就労女性を対象にものづくりの仕事への関心を高めるための講座を実施した。

4 障がい者が働く意欲を引き出せる多様な働き方の創造

【28年度の取組み実績】

神戸市障害者就労推進センターを運営し、関係機関と連携をはかりながら就労支援を推進した。また、しごと開拓員を地域障害者就労推進センターに配置し、雇用先や体験就労の場の開拓や、作業受託の増に取り組んだ。このほか、特例子会社設立助成、「ふれあい商品」の商品力向上支援などを行った。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

【KPI 28年度実績】

- ・新規在宅ワーカー数 170人
- ・ネットモニター調査におけるワーク・ライフ・バランスの認知度 45.7%(平成28年8月実施)
- ・未就労女性支援件数 74件(相談：30件、セミナー：44件)

4 次世代の将来を約束できる環境づくり

●具体的な施策(1)公共交通網の充実

1 公共交通を中心とした安全で快適な交通環境の形成

【28年度の取組み実績】

- ・神戸市地域公共交通活性化協議会において、交通事業者、市民代表、学識経験者、関係行政機関と協議を行った上で、平成28年度末に神戸市地域公共交通網形成計画を策定した。
- ・北区八多町、北区大沢町、垂水区塩屋地域において、コミュニティバスによる試験運行を実施した。
- ・現状の交通課題を調査・分析し、自動車交通のマネジメント、歩行環境の向上、公共交通など多様な交通手段の確保の視点から交通体系の検討を進めた。

2 快適で便利な公共交通の推進

【28年度の取組み実績】

- 神戸市内の路線バスの利用促進・利便性向上を図るため、市内の全路線バス事業者12社局を構成員とした「神戸市路線バス利用促進協議会」を立ち上げ、各交通事業者及び行政等の連携による各種施策の実施に向けた検討を進めた。平成28年度はK O B E バスマップ(ホームページ版)を作成・公開した。
- 一方、三宮周辺で発着しているバス事業者の代表と行政による研究会を平成28年11月、平成29年3月の2回開催した。今後は、バス乗降所のあり方及び新たなバスターミナルの整備に向けた検討・調整を行い、今後も継続して実施する。
- また、過年度作成していた三宮周辺バス乗り場案内マップをKOBEBスマップ(HP版)とあわせて、市HPに掲載した。

3 地域主体の生活交通への支援

【28年度の取組み実績】

- 実証実験に向けて協議・調整を進めていたが、関係者との協議で合意に時間を要し、実証実験の実施に至らず、民間事業者は撤退した。引き続き、交通に課題がある地域において、高齢化や地形的な状況などの地域特性を踏まえて住民が主体的に公共交通導入に取り組む地域について優先的に取り組みを支援しており、北区八多町、北区大沢町、垂水区塩屋地域において、コミュニティバスによる試験運行を実施した。

4 自転車利用環境の整備

【28年度の取組み実績】

- 平成24年度に策定した「神戸市自転車利用環境総合計画」に基づき、自転車と歩行者の双方に安全で快適な道路空間の創出に向けた施策を推進している。
- 平成28年度は、兵庫区の西出高松前池線、須磨区の名谷環状線などにおける自転車レーンの整備を行なった。また、板宿駅など、放置自転車が多いなどの課題のある駅を中心に改善に向けた検討を行うとともに、ルール・マナー向上の取組みとして、自転車走行空間整備箇所や小学校での啓発活動や利用者アンケートを実施した。

【KPI 28年度実績】

- ・地域主体の生活交通への支援地区数 11地区

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

●具体的な施策(2)陸・海・空の交通基盤の充実

1 みちのネットワークづくり

【28年度の取組み実績】

①広域幹線道路ネットワークの強化

大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）が、平成28年4月に国土交通省の直轄道路事業として事業化された（国の取り組み実績 六甲アイランド：ボーリング調査、測量）。その後、阪神高速の有料道路事業の導入による合併施工方式となり（平成29年3月）、早期整備に向けて大きく前進した。また、高速道路を賢く使う取り組みとして、阪神高速の料金改定が実現した（平成29年6月3日 新料金導入）ほか、平成29年3月23日には国道175号平野拡幅が完成した。

②主要幹線道路ネットワークの構築

神戸三田線（大池）の延長約220mと神戸三田線（有馬口）の延長約500mが完成し、神戸三田線（日下部）の事業認可を取得した。その他、小東山6丁目交差点改良工事が平成29年5月末に完成し、皆森交差点など、市内の主要な渋滞箇所についてハード・ソフト施策等の渋滞対策の検討を進めた。

2 阪神港国際コンテナ戦略港湾のさらなる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大

【28年度の取組み実績】

・「集貨」については、国の集貨支援制度を活用し、瀬戸内・九州方面からの集貨を進めるとともに、国や阪神国際港湾株式会社と一体となって、国内外の荷主企業・船会社をターゲットとしたポートセールスを実施した結果、取扱貨物個数は3年連続増加し、内航フィーダーネットワークは取り組み開始前の週68便(平成26年4月時点)から週99便(平成29年2月時点)に増加した。

・「創貨」については、新たなコンテナ貨物の需要創出のため、国の創貨支援制度を活用し、ポートアイランドにおいて新たな流通加工センターの建設を進めた(平成28年4月竣工)。また、六甲アイランドでも新たな流通加工倉庫の建設が進んだ(平成29年1月竣工)。

・「競争力強化」については、港湾物流の基盤整備として、埠頭用地の耐震化や航路・泊地の浚渫などを国直轄事業として進めた(平成28年4月よりRC-6、7に係る六甲東水路を水深16mで暫定供用を開始)。このほか、高規格ガントリークレーンの整備などの事業を実施した。

3 神戸空港の機能充実

【28年度の取組み実績】

①関西3空港一体運営に向けた取組み

神戸空港コンセッションの準備作業を進めた。

②神戸空港の機能充実

・運用時間の延長、発着枠の拡大、国際チャーター便の制限の緩和、国際便の利用促進のためのCIQ体制充実など国への要望等を行った。

・兵庫県や商工会議所、航空各社、旅行会社とともに、利用促進に取り組んだ。

【KPI 28年度実績】

・阪神港の国際基幹航路等の便数(北米・欧州など)(再掲)

①欧州基幹航路 週1便

②北米基幹航路 6曜日寄航

③南米等航路 新規航路開設(アフリカ航路、インド航路)

・3空港一体運営による利便性向上・ネットワークの充実(就航都市数) 6都市(再掲)

●具体的な施策(3)環境貢献都市の推進

1 次世代へつなげる、多様な分散型エネルギーの利活用

【28年度の取組み実績】

市内初の商用水素ステーション「神戸七宮水素ステーション」（平成29年4月営業開始）や「こうべ再エネ水素ステーション」の開設をはじめとした水素エネルギーの利活用促進や、公有財産を活用した太陽光発電の導入、薪ストーブの設置補助など、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入促進に取り組んだ。

また、家庭部門におけるCO2削減を進めるため、住宅用太陽光発電システムや家庭用燃料電池(エネファーム)の設置にかかる経費の一部を助成するとともに、市民や事業者に対して、日々の暮らしの中で節電など地球にやさしい「賢い選択」を呼びかける普及啓発運動“KOBE COOL CHOICE”を市内で展開した。

加えて、神戸市における環境負荷の少ないエネルギーの普及や、神戸市域においてエネルギーを有効活用する仕組みづくりを産官学連携により推進するため、「神戸の地域エネルギーを未来に繋ぐ懇談会」を開催した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

2 循環型社会の実現に向けたさらなるごみ減量化の推進と低炭素社会にも資する安定的・効率的ごみ処理体制の構築

【28年度の取組み実績】

- ・家庭系ごみの分別の徹底を推進し、“こつべ版”食品ロス削減運動の推進に向けて詳細な実態調査（302世帯対象）等を実施したほか、紙のリサイクルの一層の推進やレジ袋の削減、びんの資源化率向上等に取り組んだ。
- ・事業系一般廃棄物の適正排出の広報・啓発に取り組むとともに、市の処理施設への搬入物の展開検査、クリーンステーションにおける事業系ごみの開封調査及び排出事業者への指導に取り組んだ。また、産業廃棄物についても、処理施設や排出事業所の指導等に取り組んだ。
- ・平成29年1月に老朽化した旧港島・苅藻島クリーンセンターを焼却停止し、平成29年3月に完成した港島クリーンセンターと、東・西クリーンセンターの3施設による可燃ごみ焼却体制、及び妙眞山・落合・苅藻島クリーンセンターの3施設によるごみの中継体制へと移行した。（港島クリーンセンターは非常用電機を備えており、停電になっても1週間処理可能となった。）

●具体的な施策(4)神戸の豊かな自然を守る

1 緑豊かな六甲・摩耶の活性化

【28年度の取組み実績】

- ・摩耶山周辺ハイキングコース、摩耶自然観察園の整備や、山麓電飾の灯具新設を行った。
- ・東遊園地で開催されたファーマーズマーケットに、森林整備により発生した木材を用いたテーブルを設置した。
- ・下唐櫃地区の森林再生と共に地域活性について「森林再生・地域資源活用プロジェクトチーム」を発足した。

2 市民との協働による神戸の生物多様性保全

【28年度の取組み実績】

- ・外来種対策をテーマとした生物多様性シンポジウムや、市内のゴルフ場やあいな里山公園等における自然観察会等を開催し、幅広い層への生物多様性の浸透をはかった。
- ・庁内連携の外来種対策推進プロジェクトチームを組織し、一体的に外来種対策を検討した。
- ・生物多様性保全のシンボル拠点である「キーナの森」について、平成29年度の開園に向けて園内の整備や生き物調査等を実施した。

【KPI 28年度実績】

- ・六甲・摩耶の観光入込客数 204万人（平成28年）（再掲）

5 安心なくらしづくり

●具体的な施策(1)多様な住まいづくり

1 神戸ブランドを牽引する住宅地の保全と育成

【28年度の取組み実績】

①山の手住宅地の保全（ルールづくり）のための実績

- ・景観資源基礎調査（歴史的建築物、石積擁壁、緑樹等）の実施
- ・景観上重要な住宅所有者や管理者へ、ヒアリングを行い、維持管理等に関する意向調査を実施

②山の手住宅地の育成（魅力発信）のための実績

- ・現況調査及びニーズ調査として、近年のマンション開発や戸建分譲の動向などを調査しながら、景観上重要な住宅所有者や管理者・開発事業者・地元の不動産等へのヒアリングを実施
- ・有識者等による勉強会の開催（地域の歴史・成り立ち、住宅地の新たな価値についての議論等）

2 計画的開発団地(ニュータウン)のリノベーション

【28年度の取組み実績】

モデル団地(須磨区高倉台・垂水区多聞台・北区有野台)におけるまちの将来像や施策の検討や、地域が主体となった団地再生活動への支援を行った。

桜の宮住宅建替事業では、1期PFI事業者により工事を進めるとともに、2期エリアの基本計画案を公表し、また東多聞台住宅建替事業におけるPFI事業者と契約を締結し事業に着手したほか、名谷南センターのリニューアルに着工した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<p>3 「神戸里山暮らし」の推進</p> <p>【28年度の実績】 地域団体が地域の特色を活かして実施する里づくり事業への支援を拡充するとともに、地域の計画づくりの一部を大学研究室やコンサルタントに委託することにより、里づくり計画の策定・見直しを進め、農村地域の魅力アップをはかった。また、農村地域の空家や農地情報を集約し、興味のある都市住民を農村地域への移住・定住につなぐコーディネーターの配置に加え、空家バンクの運営、空家改修の補助など、定住促進につながる支援制度を創設し、都会の利便性と田舎の心地よさを兼ね備える「神戸・里山暮らし」を促進した。さらに、人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例を平成28年3月に改正し、4月から農村定住起業等の取り組みなど規制緩和を進めた。</p>
<p>4 市街地西部地域の活性化</p> <p>【28年度の実績】 外部有識者と所管部署の職員による「地下鉄海岸線・市街地西部活性化コンソーシアム」を開催するとともに、民間事業者からの提案による活性化事業の実現・定着に向けた取り組みを進めた。また、兵庫運河の活性化に向けて、新川運河においてはプロムナードやライトアップ整備に着手し、清盛橋～住吉橋間においては親水空間の整備を完了した。さらに、アニメーション神戸関連事業として、「KOBEぼつがカルチャーフェスティバル」を開催する等、市街地西部地域の活性化に取り組んだ。</p>
<p>5 鈴蘭台駅周辺のまちづくり</p> <p>【28年度の実績】 再開発ビルの建築工事を進め、あわせて、工事期間中のにぎわいづくりのためのイベントなどを実施した。</p>
<p>6 こうべ空き家活用促進事業</p> <p>【28年度の実績】 神戸市すまいとまちの安心支援センター(すまいるネット)における「空き家活用相談窓口」運営のほか、中古住宅のインスペクション及び売買瑕疵保険費用の補助制度を引き続き行った。また、一般社団法人移住・住みかえ支援機構(JTI)「マイホーム借上げ制度」の普及支援のためのセミナーや相談会を開催した。</p>
<p>7 質の高い道路空間づくり～道路のリデザイン～</p> <p>【28年度の実績】 街路樹がより健全に生育できる環境や安全な歩行空間を目指し、街路緑化指針の改定及び街路樹再整備方針の策定を進めた。(平成29年4月街路緑化指針改定及び街路樹再整備方針策定)</p>
<p>8 身近な公園の再生</p> <p>【28年度の実績】 都心活性化・三宮再整備の動きの中で、回遊性向上の拠点として、東遊園地におけるさらなる日常的なにぎわいや利活用を創出するため、芝生化実験やにぎわい創出実験の実施と併せて再整備検討委員会を開催し、再整備に向けた基本構想(案)をまとめた。また、社会情勢の変化に対応した公園の機能・魅力の再生に計画的に取り組むため、公園緑地審議会で、「神戸の未来を創造する身近な公園のあり方」について諮問を行い、審議会と計画・緑化部会における計5回の審議を実施した。</p>
<p>【KPI 28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親・子世帯の近居・同居住み替え助成事業による子世帯の計画的開発団地(ニュータウン)への流入件数 35件 ・計画的開発団地(ニュータウン)の近隣センター・サブセンター・会館のリニューアル件数及び若年世帯向け新規住宅供給戸数 0件 ・新規就農者数 45人(再掲) ・農村部への移住・起業数 31件(再掲) ・空き家率 ー(住宅・土地統計調査の数値によるため次回(平成30年)) ・既存受託の流通シェア率 ー(住宅・土地統計調査の数値によるため次回(平成30年)) ・憩いやにぎわい空間を創出するためのベンチ増設 93基 ・身近な公園再整備数 ー(平成29年度以降)

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

●具体的な施策(2)神戸における国土強靱化の推進

1 土砂災害対策、浸水対策
【28年度の取組み実績】 近年頻発している土砂災害から市民の生命・財産を守るため、土砂災害の危険度を予測・判定できる「神戸市土砂災害危険度予測システム」を兵庫県と合同で構築し、試験運用を行った。また、市有林における土砂災害対策をさらに推進した。 河川改修(表六甲水系、明石川水系など)においては、河床切り下げ等を施工し河川断面を広げることによって治水安全度を向上させた。 下水道の浸水対策においては、重点地区(西河原、三宮南、長田南部他)の雨水管きょやポンプ場の整備を進めた。
2 地震・津波対策
【28年度の取組み実績】 橋梁については、緊急輸送道路に架かる15m以上の橋梁のうち、1橋の工事が継続中であり、その他2橋の工事に着手した。 また、国の補助制度である「下水道総合地震対策事業制度」を活用し、東部スラッジセンター污泥搬入路耐震補強工事を実施した。
3 住宅・建築物の耐震化
【28年度の取組み実績】 引き続き、すまいの耐震化を推進するため、無料耐震診断・耐震改修への補助事業を実施したほか、生命を守る対策として家具固定を促進するため、補助・専門員派遣を実施した。また、不特定多数の人が利用する大規模建築物の耐震化を推進するため、耐震改修補助事業を実施した。
4 社会基盤(道路、河川、公園、上下水道、港湾施設など)の戦略的な維持管理・更新
【28年度の取組み実績】 ・橋梁については、第Ⅱ期橋梁長寿命化修繕計画(平成25年～29年、計画100橋)に基づき20橋(平成28年度末時点)の修繕を実施した。また、トンネルについては、トンネル長寿命化修繕計画(平成24年～、全33箇所)に基づき、11箇所(平成28年度末時点)の修繕を実施した。 ・河川管理施設については、改正された河川法の趣旨を踏まえ、平成27年度から河川管理施設の点検を行い、継続的かつ適切な維持管理に取り組んだ。 ・公園については、長寿命化計画に基づき老朽化した遊具やベンチなどの施設の改築更新を進めた。 ・下水道については、西部処理場北系、魚崎ポンプ場など老朽化により更新時期を迎えた処理場やポンプ場などの施設及び管渠の改築・更新を行った。
5 変化する都市構造や大規模多様化する自然災害に対応できる消防・救急体制の構築
【28年度の取組み実績】 ・長田南部の新たな災害活動拠点として、市内で初めて消防団器具庫が併設された、長田消防署大橋出張所の建替えを行った。 ・大学等に通学しながら、真摯かつ継続的に本市の消防団活動に取り組み、地域社会に貢献した大学生等の功績を神戸市長が認証することにより、就職活動を支援することを目的とした「神戸市学生消防団活動認証制度」を創設した。 ・市街地東部地域における救急要請への対応力を強化するため、灘消防署に救急隊を1隊増やし、計2隊による救急隊の運用を開始した。
6 建築物の防火対策
【28年度の取組み実績】 ・建物の防火対策を推進する一環として、地震等の大規模災害時に重要となる消防用設備等の非常電源(自家発)の適正な維持管理について、自家発工業会の専門講師を招いた研修会を開催し、適正な点検及び維持管理方法の研修を実施した。 ・建物の売買や賃貸における取引において、買主や借主が消防用設備等の点検状況や消防法令の違反状況を容易に把握できるよう、建物の取引引きにおいて重要事項説明等における情報提供を積極的に実施して頂くよう、兵庫県宅地建物取引業協会に協力依頼を行い、関係機関と連携した建物の防火対策を推進した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

7 自己決定力を高める防災基盤づくり

【28年度の取組み実績】

・市民へ「自己決定力の向上」を浸透させていくため、市内の大学やNPO、企業等と連携した防災啓発や、ポータルサイトを活用した発信に取り組むとともに、子育て世代を中心とした啓発活動の担い手育成を支援するため、啓発に取り組む主体と連携し検討を行った。

・11月には全市総合防災訓練を実施し、住民避難訓練等の実施により地域防災力の向上を図るとともに、1月にはシェイクアウト訓練を実施し、震災に対する防災意識の向上を図った。

・土砂災害からの適切な避難行動を促進するため、地域に出向いて、「土砂災害わが家の避難マップ」を活用した説明会を開催するとともに、サンドアートによる避難啓発動画を作成し、戦略的な広報を実施した。

・危機管理体制を強化する取組みとして、大規模災害により行政機能が低下する中で、市民生活への影響を最小限にとどめるため、「神戸市業務継続計画（BCP）」を策定するとともに、風水害の発生に際して、迅速で的確な対応がとれるよう「神戸市風水害タイムライン（防災行動計画）」を策定した。さらに、多くの帰宅困難者の発生が予想される三宮駅周辺では、事業者等で構成される協議会において「三宮駅周辺地域都市再生安全確保計画」を策定した。

・そのほか、災害時のドローン活用について調査を行い、事業者と協定を締結し、訓練等で活用するとともに、新たな危機管理情報システムの構築に向けて必要な機能等の調査を行った。

8 密集市街地の再生

【28年度の取組み実績】

「密集市街地再生方針」に基づき安全で安心な防災まちづくりを推進するため、密集市街地再生優先地区を中心にまちなか防災空地の整備、老朽建物の除却、不燃化の促進、細街路の整備等を実施した。

【KPI 28年度実績】

- ・河川改修 320m
- ・橋梁改良 2橋(架替中)
- ・上水道の送水バックアップ率 74%
- ・污水管さよの再構築(耐震化)済エリア内昼間人口 17万人
- ・防潮堤の補強延長 胸壁改良1,900m、洗掘対策3箇所(胸壁進捗率：29%)
- ・橋梁(緊急輸送道路に架かる15m以上の橋梁)の耐震化率 74.1%
- ・住宅の現況耐震化率 -(住宅・土地統計調査の数値によるため次回は平成30年)
- ・多数の者が利用する建築物の現況耐震化率 -(住宅・土地統計調査の数値によるため次回は平成30年)
- ・地区防災計画策定数 -(平成29年度以降)
- ・まちなか防災空地整備件数 16箇所(累計36件)

●具体的な施策(3)健康寿命の延伸

1 健康寿命の延伸

【28年度の取組み実績】

・特定健診及びがん検診の受診率向上のため、特定健診とがん検診、保健指導を同日に受けることのできるセット健診を実施した。また、心身の活力が低下し介護が必要な状態に移行しやすいフレイルを早期に発見し、生活習慣の見直しを促すことを目的としたフレイルチェックを特定健診と合わせて実施した。がん検診は巡回健診における土日の実施及び利便性の高い場所への配置など、受診者の利便性の向上に努めた。さらに、女性特有のがん検診対象者への無料クーポン券送付や個別受診勧奨を実施した。また、在宅療養支援や相談支援・就労支援情報の提供などによるがん患者等の支援に取り組んだ。

・健康寿命の延伸に向けた取組みとして、民間事業者・関係団体等協働による介護予防啓発イベント「いきいきシニアライフフェア」を開催し、高齢者をはじめとする全世代に介護予防について広く普及啓発を行った。また、ネスレ日本との連携協定に基づく「介護予防カフェ」による高齢者のつどい場づくり支援を行うなど介護予防に取り組みやしやすい環境づくりをおこなった。さらに、地域支え合い推進員を配置することで、ボランティア等の担い手発掘や自主的な介護予防活動の支援を行い、元気な高齢者や地域住民が地域で活躍できる場を作るとともに、民生委員や民間事業者と連携した地域の高齢者等の見守り活動を推進した。

2 計画的開発団地(ニュータウン)のリノベーション

【28年度の取組み実績】

モデル団地(須磨区高倉台・垂水区多聞台・北区有野台)におけるまちの将来像や施策の検討や、地域が主体となった団地再生活動への支援を行った。

桜の宮住宅建替事業では、1期PFI事業者により工事を進めるとともに、2期エリアの基本計画案を公表し、また東多聞台住宅建替事業におけるPFI事業者と契約を締結し事業に着手したほか、名谷南センターのリニューアルに着手した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

3 神戸医療産業都市の推進

【28年度の実績】

- ・国家戦略特区プロジェクトとして、iPS細胞を用いた網膜再生医療等の研究から実用化までを行う神戸アイセンターを整備に着手。
- ・さらなる創薬関連企業を誘致しオープンイノベーションを推進するため、「神戸医療イノベーションセンター」を整備。
- ・スーパーコンピュータを使った創薬(インシリコ創薬)のためのアプリケーションを開発。
- ・他人のiPS細胞を使った網膜細胞の移植に関する臨床研究を進め、日本で1例目となる移植手術を神戸市立医療センター中央市民病院で実施(平成29年3月)。
- ・平成29年3月末時点で、医療産業都市への進出企業数は336社、雇用者数は約9,200人となった。

【KPI 28年度実績】

- ・親・子世帯の近居・同居住み替え助成事業による子世帯の計画的開発団地(ニュータウン)への流入件数 35件(再掲)
- ・計画的開発団地(ニュータウン)の近隣センター・サブセンター・会館のリニューアル件数及び若年世帯向け新規住宅供給戸数 0件(再掲)
- ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 77社(再掲)
- ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 2,820人(再掲)

●具体的な施策(4)安全・安心な地域づくり

1 地域医療体制の充実と医療介護連携の推進

【28年度の実績】

- ・効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため平成28年10月に策定された「兵庫県地域医療構想」の実現に向け、「神戸圏地域医療構想調整会議」を設置し、今後の議論の進め方について協議した結果、調整会議のもとに「病床機能検討部会」と「地域包括ケア推進部会」を設置し、議論を進めることとなった。
- ・医療・介護連携については、医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談受付や、多職種連携会議の開催等の事業を中心的に担う「医療介護サポートター」を4区5箇所を設置した。
- ・また、新公立病院改革ガイドラインに基づいた再編・ネットワーク化に取り組み、西神戸医療センターを運営する一般財団法人神戸市地域医療振興財団の事業を平成29年4月1日に地方独立行政法人神戸市市民病院機構に移管した。

2 健康危機管理の体制(神戸モデル)の強化

【28年度の実績】

感染症の発生予防・早期発見をはかるため、感染症訪問指導員が社会福祉施設等を巡回指導し、タブレットを活用した感染症情報等の提供を行うことで健康危機管理体制強化に取り組んだ。

3 不適切な状態で放置されている空き地・空き家及びごみ屋敷への対策

【28年度の実績】

- ・平成28年2月に空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「神戸市空家等対策計画」を策定。
- ・平成28年10月に全施行した「神戸市空家空地対策の推進に関する条例」に向けての他都市調査、関係機関との調整を行った。
- ・平成28年10月にごみ屋敷対策条例を全部施行し、解消への働きかけと支援の取組みを進めた結果、条例施行前(平成28年8月)に105件あったごみ屋敷は、72件(平成29年3月末)に減少した。

4 HACCPの導入の推進

【28年度の実績】

- ・平成28年4月1日より、HACCPによる衛生管理を行う場合の届出制度を設けた。(平成29年3月末現在 11施設20業種より届出)
- ・食品取扱施設に対する営業許可・監視等の機会を通じて、食品関係営業者にHACCP方式による衛生管理を啓発した。
- ・厚生労働省・国立保健医療科学院が実施した研修会に職員を参加させ、営業者指導にあたっての知見を得た。

5 地域における防犯対策の強化

【28年度の実績】

防犯カメラ設置補助事業は、平成28年度に592箇所の補助を実施した。
また、青色防犯パトロールの物品支給や、こうべまちづくり学校において防犯活動の人材育成を行うなど、地域で取り組まれている防犯活動に対する支援を実施した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

●具体的な施策(5)ユニバーサルデザインのまちづくり

1 ユニバーサルデザインの普及・啓発
【28年度の実績】 小学校への「みちの学校」や市民ボランティアと連携して、「親子UD体験教室」「こうべユニバーサルデザインフェア」「小中学校へのUDの出前授業」等を開催・実施し、普及・啓発に取り組んだ。
2 誰もがくらしやすいまちづくりの推進
【28年度の実績】 高齢者、障害者等、誰もが外出しやすいまちづくりを推進するため、鉄道駅舎のバリアフリー化やノンステップバス導入を支援するとともに、事業者等と連携・協力し、神戸市バリアフリー基本構想の推進に取り組むほか、誰もが使いやすいまちづくり、公園づくりに取り組んだ。
3 心のバリアフリーの推進
【28年度の実績】 高齢者、障がいのある人、妊娠中の人などへの配慮の必要性や適正な支援方法について理解を深めるため、鉄道事業者や公共施設の職員を中心とした「心のバリアフリー研修」を実施した。 日常生活の中で、障害のある人が困っているときに手助けができる市民を養成する「障がいサポーター養成講座」を開催した。
4 障がい者差別の解消
【28年度の実績】 平成28年4月の障害者差別解消法の施行に伴い、広報紙や新聞等への記事掲載、イベント等でのパネル展示のほか、商工会議所や青年会議所を通じた周知や事業者への講師派遣、資料提供など、障害理解の促進に取り組んだ。また、障害者差別に関する相談窓口、神戸市障害者差別解消支援地域協議会を設置した。

【KPI 28年度実績】
・こどもや学生への出前授業の受講者数 6,837人
・神戸市バリアフリー基本構想において選定された重点整備地区における生活関連経路等のバリアフリー化 4.9km（平成27～28年度）
・歩道の段差・波打ちの解消 0.92km（平成27～28年度）
・公園における主要園路の段差解消等 57%
・地下鉄駅施設における計画的なバリアフリー整備の推進 西神・山手線三宮駅ホームドアの設計・発注

●具体的な施策(6)地域福祉基盤の強化

1 「地域福祉のプラットフォーム」の構築
【28年度の実績】 地域福祉ネットワークについては、平成27年度に全区への配置が実現し、平成28年度には「くらし支援窓口」のアウトリーチ機能を専門に担う地域福祉ネットワークを新たに配置し（+11名により合計20名）、全区複数配置した。くらし支援窓口が開催する「支援調整会議」に出席するなど、地域における生活困窮者に対する支援の状況、及び地域づくりとネットワーク等に関して協議を行い、対象世帯の自立へ向けた支援に取り組んでいる。

●具体的な施策(7)貧困の連鎖防止に向けた取り組み

1 包括的な自立相談支援
【28年度の実績】 各区に設置した「くらし支援窓口」において、生活困窮者等からの生活や仕事に関する相談を幅広く受け、自立に向けて寄り添った支援を行った。また、関係機関と連携し、包括的な相談支援を実施するとともに、家計相談支援事業を開始し、全ての任意事業の実施に至っている。さらに、区社会福祉協議会の地域福祉ネットワークがくらし支援窓口のアウトリーチ機能を担い、連携して生活困窮者への支援を行った。
2 就労の場の確保に向けた支援
【28年度の実績】 生活困窮者や生活保護受給者のうち、直ちに一般就労が困難なものに対して、基礎能力の形成や就労体験の提供などを行う就労準備支援事業を実施するとともに、認定就労訓練事業の開拓を行った。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

3 子どもの学習支援
【28年度の取組み実績】 生活困窮者世帯、生活保護世帯の主に中学生を対象に、全区において、通年（週2回）で集合型の個別学習会を実施するとともに、保護者に対する養育支援を行った。
4 住宅セーフティネットの構築
【28年度の取組み実績】 ・市営住宅の入居者募集について、より困窮度の高い市民が入居しやすいように導入した市営住宅募集におけるポイント方式において、要領の改正を行い、申込者の負担を減らすとともに対象住戸を増やし、より住宅困窮度の高い方が当選するようにした(5月,11月定時募集にて実施)。また、定時募集をこれまでの年2回から年4回に増やし、若年・子育て世帯向特定目的住宅の募集戸数を追加することで、入居機会を拡大した。さらに、先着順で申し込みを受け付ける市営住宅常時募集においては、従来の一般住宅に加え、特定目的住宅も対象とすることで、緊急性が高く真に住宅に困窮している世帯に対して恒常的に申込住宅の選択肢を提供できるようにした。 ・大学生に対して、自治会等地域活動への参加を条件に市営住宅の目的外使用を認め、コミュニティの活性化を図った。（3戸4名入居） ・福祉（生活保護制度、生活困窮者自立支援制度）や子育て（ひとり親世帯支援）などの関係部局と連携を図りながら、ひとり親世帯をはじめとする住宅確保要配慮者の困窮状況や居住環境といったより詳細な実態把握やニーズ調査などを実施した。特にひとり親世帯の困窮度が高いことから、平成29年度は、市営住宅に入居できないひとり親世帯対象とした家賃補助制度を創設する。

●具体的な施策(8)障がい者が安心して暮らせるための支援

1 住まいの確保
【28年度の取組み実績】 住まいとなるグループホームについて、施設の改修にかかる経費の助成を行い、市営住宅や民間住宅の空き家を活用した整備事業に取り組んだ。
2 障がい者が働く意欲を引き出せる多様な働き方の創造
【28年度の取組み実績】 神戸市障害者就労推進センターを運営し、関係機関と連携をはかりながら就労支援を推進した。また、しごと開拓員を地域障害者就労推進センターに配置し、雇用先や体験就労の場の開拓や、作業受託の増にと取り組んだ。このほか、特例子会社設立助成、「ふれあい商品」の商品力向上支援などを行った。
3 障がい者差別の解消
【28年度の取組み実績】 平成28年4月の障害者差別解消法の施行に伴い、広報紙や新聞等への記事掲載、イベント等でのパネル展示のほか、商工会議所や青年会議所を通じた周知や事業者への講師派遣、資料提供など、障害理解の促進に取り組んだ。また、障害者差別に関する相談窓口、神戸市障害者差別解消支援地域協議会を設置した。

【KPI 28年度実績】 ・グループホーム(定員数) 618人

6 地域と地域の連携づくり

●具体的な施策(1)顔の見える地域社会づくりと支えあい活動の推進

1 総合的・自律的な地域コミュニティの環境づくり
【28年度の取組み実績】 地域コミュニティの実態把握・分析を行うため、「地域組織基礎調査」を実施した。 「補助金等の交付手続きに関する要綱」の施行(平成28年10月1日)に伴う手引書・啓発リーフレットなどを作成した。 地域団体の事務負担軽減に向けた補助金の統合化や申請・報告手続きの見直しを検討した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

2 「地域福祉のプラットフォーム」の構築

【28年度の取組み実績】

地域福祉ネットワークカーについては、平成27年度に全区への配置が実現し、平成28年度には「くらし支援窓口」のアウトリーチ機能を専門に担う地域福祉ネットワークカーを新たに配置し(+11名により合計20名)、全区複数配置した。くらし支援窓口が開催する「支援調整会議」に出席するなど、地域における生活困窮者に対する支援の状況、及び地域づくりとネットワーク等に関して協議を行い、対象世帯の自立へ向けた支援に取り組んでいる。

●具体的な施策(2)市民とつながる区役所改革

1 さらなる市民サービスの向上

【28年度の取組み実績】

個人番号カードを利用した証明書コンビニ交付サービスにおいて、戸籍や課税証明書の発行を追加するとともに、証明書電子申請サービスを開始した。また月2回(第2・第4木曜日)の区役所窓口時間の延長を実施しているほか、繁忙期における日曜開庁、年末開庁を実施するとともに、東灘区役所において総合窓口を設置し、窓口サービスの向上に向けて取り組んだ。

2 区役所機能の充実

【28年度の取組み実績】

区のまちづくりの推進としては、地域を重視する観点から、「区の個性をのばすまちづくり事業」に重点的に取り組むなど、地域に最も近い区役所の機能強化をはかり、地域ニーズによりきめ細かく対応した。

また、兵庫区庁舎の実施設計等を行うとともに、北区庁舎の鈴蘭台駅前再開発ビルへの移転に向けて関係各所との調整を進めた。さらに、西区庁舎の西神中央駅周辺地域への移転に向けて基本計画(案)を策定した。(基本計画は平成29年6月策定)

●具体的な施策(3)都市間連携

1 近隣市町との連携

【28年度の取組み実績】

水平連携により、市域を越えた豊かで利便性の高い広域生活圏の構築をはかるとともに、圏域の魅力発信に取り組んだ。

2 水道の安定供給体制強化に向けた県下市町との広域連携の検討と技術連携

【28年度の取組み実績】

- ・指定給水装置工事事業者研修会を、明石市と共同開催し、事務的な負担軽減を図った。
- ・広報連携(新ロゴの作成等)や水質検査の受託、技術連携、共同研修会を実施した。
- ・阪神地域に点在する水源の最適配置について、関係事業者とともに検討を行った。
- ・緊急時連絡管については、平成28年度末時点で、隣接都市5市1町12箇所の整備が完了し、13,800㎡の受水が可能となった。

【KPI 28年度実績】

- ・県及び近隣市町との連携による取組み件数 4件
- ・近隣市町との緊急時連絡管整備箇所数 12箇所

●具体的な施策(4)県市協調

1 県市協調

【28年度の取組み実績】

兵庫県・神戸市政策調整会議等を通じ兵庫県との連携を推進した。

2 新長田駅南再開発エリアへの兵庫県・神戸市関係機関の共同移転

【28年度の取組み実績】

新長田合同庁舎の基本設計および実施設計を進め、地元に対して事業計画変更の説明会を行った。
また、共同移転に関するPR看板を作成し、建築敷地及びJR・地下鉄駅4箇所に設置、並びにまちづくりニュースを3回発行した。

3 県・市の中小企業支援機関の集約化

【28年度の取組み実績】

ひょうご産業活性化センターが、平成29年3月21日に神戸市産業振興センターへ移転した。移転に合わせ、神戸市産業振興センター1階に「ひょうご・神戸経営相談センター」として、産業振興財団と活性化センターの相談窓口を集約、総合受付を設置し、相談に来られる事業者に対し、県・市・商工会議所等の支援施策を総合的に案内できる体制を構築した。

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

【KPI 28年度実績】

- ・県及び近隣市町との連携による取組み件数 4件(再掲)
- ・新長田駅南再開発エリアの夜間人口 5,852人(平成28年7月)(再掲)
- ・新長田駅南再開発エリアの昼間人口 - (次回は平成31年、5年ごと) (再掲)

「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

地域創生加速化交付金・地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金 事業

1 人材交流型新事業創造プラットフォーム

【事業の概要】

産学官金の協力のもと、新事業の創出やチームでの起業を実現していくため、総合的な支援をワンストップで提供するプラットフォーム「神戸起業操練所」を開設した。

【KPI 28年度実績】()内は目標値

新規企業、新事業創出件数 13件 (10件)

2 灘の酒首都圏・海外 P R 事業

【事業の概要】

西宮市（灘五郷酒造組合）と連携し、国内最大の消費地である首都圏や日本文化への関心が高まっている海外へのプロモーションを展開した。

【KPI 28年度実績】()内は目標値

- ・灘五郷輸出数量 18.2%増 (2.5%増)
- ・課税出荷数量全国シェア 24.5% (25.0%)
- ・神戸市内観光入込客数 3,598万人 (3,685万人)

3 神戸市仕事・子育て両立支援事業

【事業の概要】

新長田駅南地区の再開発エリアにて、乳幼児を持つ母親が子どもと一緒に出勤し柔軟に働ける環境を整えるため、市内の商店街の空き店舗スペースを活用し、託児スペース備えたオフィスを整備した。

【KPI 28年度実績】

なし（平成28年度は施設整備のみ）

4 「モダンズム」&「ネイチャー」による2市1島プロモーション

【事業の概要】

「モダンズム」（神戸市・芦屋市）と「ネイチャー」（淡路市・洲本市）の2つの価値観が近接して満たされるエリアを一つの圏域と見なし、大都市圏に向けて観光・移住・定住促進プロモーションを行った。

【KPI 28年度実績】()内は目標値

- ・4市の流入人口合計 1,959人減 (50人増)
- ・観光入込客数（神戸地域・阪神南地域・淡路地域） 2,300人減 (5,000人増)

5 アスタ新長田「オールインワンオフィス」整備事業

【事業の概要】

新長田駅南地区の再開発エリアにて、地区外からの事業転入者の誘致、周辺地区への定着による地区全体の活性化を目的とした、公共のビジネス交流拠点「オールインワンオフィス」を整備した。

【KPI 28年度実績】

なし（平成28年度は施設整備のみ）